



# いなほ

天童市立蔵増小学校  
学校だより  
No. 2  
令和5年5月2日

## 学習参観・PTA 総会等への参加ありがとうございます。

4月22日の学習参観及びPTA 総会、学年総会に多数ご参加いただき、ありがとうございました。子供たちは、活躍している姿を見てもらおうとワクワクしながらも、たくさん見にくる方がいるので、ドキドキも感じている様子でした。新たな担任の先生との初めての学習参観日でしたので、子供たちの様子がとても気になった保護者の方も多かったと思いますが、子供たちとのつながりを大切にしたい授業づくりを見ていただくことができ、嬉しく思ったところです。

さて、今年度のPTA総会では、さまざまな点で協力いただく点、お知らせする内容などがあり、挨拶が長めになってしまいましたが、改めて学校教育目標である「つながりを大切に 学ぶ楽しさを求めたくましく生きる子供の育成」について記載します。特に、今回お伝えしたかったのは、「聴く力」と「問う力」についてです。学ぶ力を育むために重要なこの2つのことについては、今後、日々の授業の中で実践を積み重ねていくこととなりますが、知っているだけの知識ややったことがある体験だけでは、これからの予測が困難な時代にあっては対応しきれるものではありません。それぞれの人の特質を生かし、学び合うことを通して解決策を見いだしていくことが重要になります。そのためには、互いの話をよく「聴く」ことが必要であり、その中で、目でよく見て姿や行為から感じ、耳でよく聞き声色や言葉の意味を解釈し、心でその人の思いや願いを感じながら「聴く」ことで、互いの納得解を探りながら成長していくこととなります。また、素朴な概念から発せられる日常の疑問や、自分の考えとは違う意見や文章等に触れることで、「なぜだろう」「どうしてだろう」という思いが膨らみ、問い返していく営みが育まれていきます。問うことで相手を知り、そして自分を見つめ直し新たな気づき生まれ、新しい解決方法が見つかっていくことにつながることになります。

以上、子供たちの育ちについて、短くお伝えしましたが、これからも子供の学んでいる姿から、このお便りやホームページ等で皆様にお伝えしていきたいと思っています。加えて、総会の折に、施設整備のことや教育課程の変更などについてもお知らせしましたが、必要な時期がきましたら改めて内容等をお伝えする予定です。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行することも踏まえ、子供たちのよりよい育ちのために学校教育活動に尽力していきますので、保護者の方及び地域の方々におかれても、今後とも、ご理解とご協力をお願いします。



## 蔵田で米づくりの学習がはじまっています

今年度も蔵増小学校所有の蔵田にて、米づくりの学習がはじまっています。今年から、矢野目地区在住で三郷堰理事長もされていた佐藤功さんを新たに米づくりの先生としてお願いし、4月28日には、田起こしの作業に取り組みました。田を耕す作業として道具が大切であることを子供たちに実感してもらうために、佐藤さん自ら西沼田遺跡公園さんに依頼し、弥生時代に出土した耕す道具とスコップ、三本鍬の3つで実際に耕してみることに挑戦しました。子供たちからは、三本鍬が扱いやすいという感想が聞かれ、目的にあった道具の大切さも感じる事ができたようです。また、田圃の畦塗りの作業に5年保護者の星野高宏さんにも協力いただき、たくさんの方々と一緒に米づくりの学習が進められることに感謝したいと思います。これからもよろしくお願ひします。

